



横須賀市議会議員

大野 忠之

教育福祉常任委員会

予算決算常任委員会（教育福祉分科会）

農業委員会

市政報告 第02号（平成23年11月）

「ありがとうよこすか」

大野忠之事務所

〒238-0024 横須賀市大矢部 3-1-3

TEL : 046-838-6571 FAX : 046-838-6573

URL : <http://www.ohno-tadayuki.com>

朝晩の肌寒い日が増えて参りましたが、皆様はお元気でお過ごしでしょうか。

さて、私、大野忠之は今回の第三回定例議会（9月1日～10月4日）において一般質問を行いました。その内容は、市長の最高責任者としての姿勢について、経済対策について、税の滞納対策について、在日米海軍との関わりについて、質問をしました。

1 市長の最高責任者としての姿勢について

(1) 指導者の資質に対する市長の認識について

(2) 責任ある指導者像及び市民に対する市長の責任について (3) 市長の市職員に対する責任について

2 経済対策について

(1) トップセールスに対する市長の認識について

(2) 市長就任後に実施したトップセールスの効果及び成果に対する市長の評価について

(3) 中心市街地活性化のための具体策について (4) 本市観光による経済効果について

(5) 市内観光資源の有効活用に対する分析と今後の課題について

3 税の滞納対策について

(1) 市税納付センター開設による滞納対策の努力目標及び達成率の見込みについて

4 在日米海軍との関わりについて

(1) 在日米海軍基地に対する市長の認識について (2) 基地交付金及び調整交付金の交付状況について

(3) 本市と米海軍基地との友好親善事業について

ア：事業の内容について イ：事業内容に対する市長の意見及び今後の展望について

(4) 日米文化交流センターについて

ア：設置の経緯及び現在の状況について イ：同センターに対する市長の意見及び

(5) 市民と基地住民との交流について

ア：交流の具体的事例について イ：交流に対する市民及び基地住民からの評価について

(6) 本市による米海軍基地に対する事業協力内容及び実施経緯について

(7) 米海軍基地の存在による本市経済への影響について

ア：本市と基地との協力関係について

イ：基地への出入り業者と地元業者との関係について ウ：基地住民の位置づけについて

私の一問目の質問に対する市長の答えは大変明確に答えて頂いたと思います。質問は一問一答方式で行い二問目は市長の一問目の答弁に対して、質疑のやり取りを20分の制限時間のもと行わなくてははいけなく、初めてのため少々時間配分が上手くいなくて、全部の質問のやり取りができなかったのが反省点です。1、の質問の内容では、市長の責任者としての考えを聞かせて頂きました。その中で私が強く質問したのは、市の職員の仕事内容に対する市長の考えを聞きました。東日本大震災の被災地に市の職員が述べ200人以上派遣されました。その内消防においては、福島原発20キロ～30キロ圏内の避難区域に緊急搬送の仕事をしていました。市長には今回、被災地で仕事をしてきた職員から現状の報告を受け市民にその内容を伝えて今後の横須賀の安心、安全の防災に役立てるようになるべきではないかと聞きました。その他、経済、税金、米軍基地、について質問しました。今後も二元代表制のもとしっかり意見を述べたいと思います。